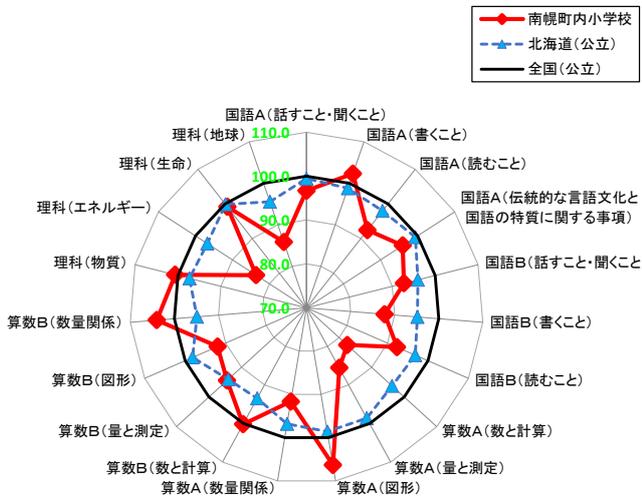


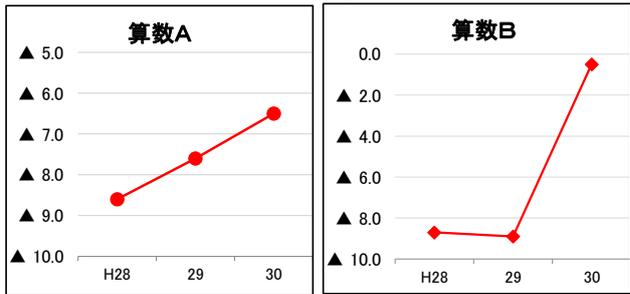
■南幌町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:49人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

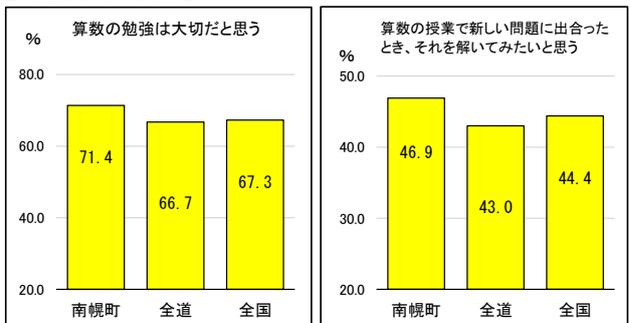


【平均正答率の全国との差の推移】

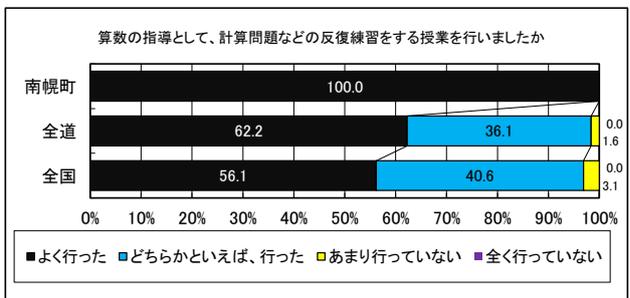
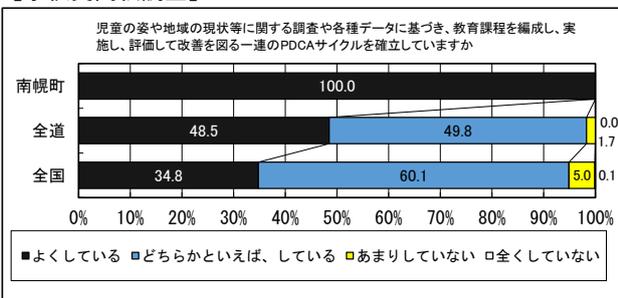


※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「図形」、Bでは、「数と計算」「数量関係」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物質」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種データに基づき、教育課程の改善を図る一連のPDCAサイクルを確立し、日常の授業改善を図った結果、国語A・B、算数A・Bで平均正答率の全国との差が縮まったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の勉強は大切だ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、計算問題などの反復練習を行った結果、基礎・基本の定着が図られるとともに、算数の勉強は大切だと思い、新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。 ○ 算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った。 	

【南幌町の学力向上策】

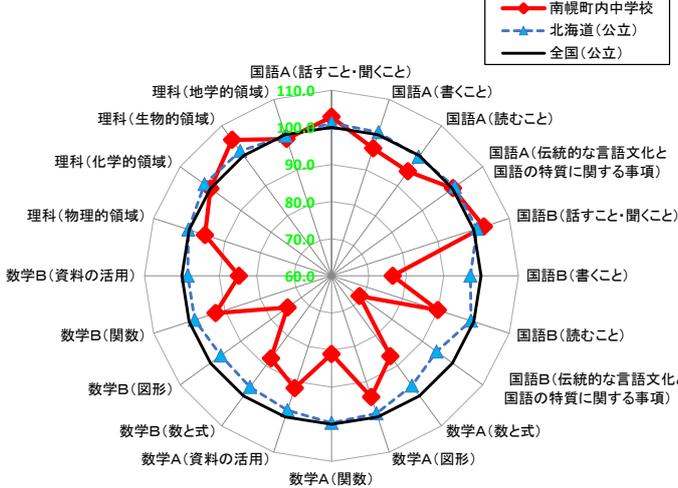
- ◎ 学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクールの導入
- ◎ 小・中学校における基礎学力向上プラン等に基づく組織的な取組の推進
- ◎ 基礎学力の定着・補充的な学習の充実に向けた公設学習塾の開設
- ◎ 生きた英語を身に付ける中学生国際留学プログラム事業の実施
- ◎ 児童生徒のコミュニケーション能力育成に向けた外国語指導助手の配置
- ◎ 児童生徒一人一人の状況に応じた指導や支援体制づくりに向けた特別支援教育学習支援員の配置
- ◎ きめ細やかな指導に向けた少人数学級のための町独自による教員加配

■南幌町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:44人)

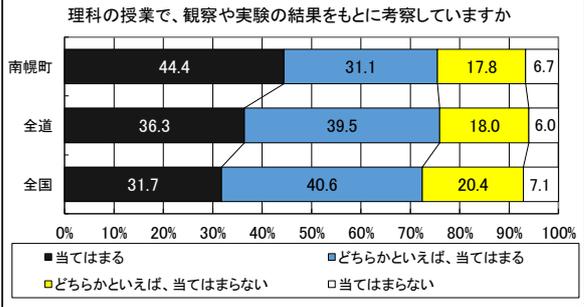
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

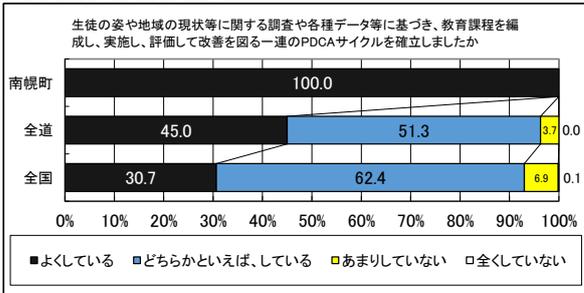
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



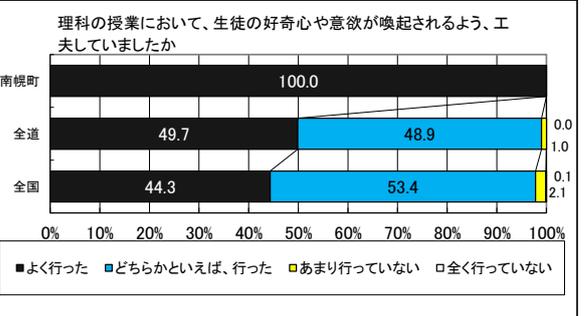
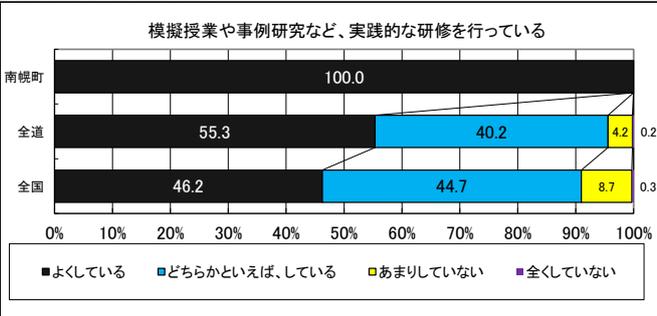
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学Aの「図形」、Bの「関数」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生物的領域」で全国及び全道を上回り、「化学的領域」で全国と同じである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種データ等に基づき、教育課程の改善を図る一連のPDCAサイクルを確立するとともに、模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行った結果、日常の授業改善が図られ、国語Aで全国との差が縮まったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の授業で、生徒の好奇心や意欲が喚起されるよう工夫した結果、生徒が観察や実験の結果をもとに考察するようになり、理科で全国との差が縮まったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立した。 ○ 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている。 ○ 理科の授業において、生徒の好奇心や意欲が喚起されるよう工夫した。 	

【南幌町の学力向上策】

- ◎ 学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクールの導入
- ◎ 小・中学校における基礎学力向上プラン等に基づく組織的な取組の推進
- ◎ 基礎学力の定着・補充的な学習の充実に向けた公設学習塾の開設
- ◎ 生きた英語を身に付ける中学生国際留学プログラム事業の実施
- ◎ 児童生徒のコミュニケーション能力育成に向けた外国語指導助手の配置
- ◎ 児童生徒一人一人の状況に応じた指導や支援体制づくりに向けた特別支援教育学習支援員の配置
- ◎ きめ細やかな指導に向けた少人数学級のための町独自による教員加配